

学級活動の充実

(その2)

学級活動(1) 学級や学校の生活づくり 小学校

～ 学級会の事前指導について ～

学級会を充実させるためには、事前指導が重要と言われているけど、具体的にどうすればいいのかなあ…



児童の自発的、自治的な活動を通して望ましい人間関係を築く態度や社会参画の態度等を育成する観点から、話し合い活動、特に学級活動(1)の充実が求められています。

各校では積極的に(1)について取り組んでいます、よくそのような声を聞きます。

今回は、どのように学級会の事前指導をするか確認します。

課題の発見

特に低学年で、この**課題に気付く”目”**を育成しておきたいです。

■ 児童自身が、諸課題を見付け、提案をする。

※ 教員は、議題の提案につながる児童のつぶやき等を見付け、助言することで、課題を発見する視点を伝えます。はじめは教師の助言、例示なども必要です。

議題の集め方

- ・「議題ポスト」への提案から
- ・朝の会、帰りの会で話題になったものから
- ・学級日誌などに書かれていることから
- ・係、当番活動の感想から
- ・児童会から依頼されたこと、または学級から児童会に提案したいこと
- など

議題の選定

計画委員会

■ 提案された議題の中から、取り上げる議題を選ぶ。

※ 児童全員の共同の問題で、具体的に解決方法を見だし、実践できるものがよい。

■ 選ばれなかった議題は、提案者に伝える。

児童に任せることができない内容⇒学級会で話し合うべき問題でないもの

- ・個人情報やプライバシーにかかわること
- ・相手を傷つける結果が予想されること
- ・教育課程にかかわること
- ・校内のきまりや施設・設備の利用にかかわること
- ・金銭徴収にかかわること
- ・健康・安全にかかわること

事前に児童に伝えておく

活動計画の作成

計画委員会

- 教師と計画委員の児童で活動計画を具体的に作成する。

計画委員会で話し合うこと

- ・提案者の思いを生かし提案理由を明確化する
- ・話し合いの柱（時間をかけて全員で話し合うべきこと）を決定する
- ・話し合いの順番を決定する
- ・役割分担をする
- ・進め方、気を付けることを確認する

提案理由に入れる内容（例）

- 1 現状の問題点
- 2 考えられる解決の方法
- 3 解決後のイメージ

※ 計画委員は輪番制で行うようにする。

問題の意識化

- 話し合うことについて考えたり、情報を収集したりして、自分の考えをまとめるなど問題意識をもつ。

計画委員会の準備

- ・事前に議題や提案理由、話し合うことなどについて「学級会コーナー」に掲示するなどして、共通理解を図る。
- ・事前に自分の意見をもって発言できるように準備させる。
例）学級会ノートに、各自の考えを記入させる。
教師が助言や励ましの言葉を書いて児童に返すことで話し合い活動当日、児童も自信をもって発言できるようになる。
- ・必要に応じてアンケートをとったり、結果をまとめた資料などを用意したりする。
- ・教師の指導の下、司会や記録の仕方の確認などの準備をする。



1年生からの指導を積み重ねることが大切になります。
理想の姿は、教師を介さなくても、自分達で問題を見付け、話し合い、解決できるようになること。学級活動の時間でなくても、話し合うべき時間帯（例えば昼休み時間など）を見付けて、学級や学校の問題解決に向けて本音で話し合うような姿、みんなで決めたことをみんなで実行する姿……。その姿をイメージしてぜひ指導してほしいと思います。